

2008年4月(先月の重大ニュース)

黄砂、広い範囲で観測

黄砂が西日本から東日本の広い範囲で観測された。気象庁によると、東京や宮城など36都府県に及んだ。(3日)

いじめ調査法統一へ

文部科学省は、いじめや暴力行為、自殺など児童・生徒の問題行動に関する調査について、子どもから直接話を聞くことを義務づけるなど、調査方法を統一することを決めた。前回2006年度分の調査で、いじめの認知件数が学校や都道府県によってばらつきが出たことを反省した。(6日)

「経済力が学力に影響」8割、日教組の調査

日本教職員組合(日教組)は、「家庭の経済力が、子どもの学力格差や進学に影響している」と感じる学級担任が8割いる、という調査結果を発表した。調査は昨年9~12月、35都道府県の小中高の学級担任3913人が回答。経済力が学力に影響していると感じる教員は、小学校81%、中学校84%、高校87%で、学校段階が上がるにつれて高くなった。「影響がある」と答えた教員の比率が大きい都道府県ほど、昨年実施された全国学力調査の平均正答率が低い傾向にあったという。(10日)

「きぼう」利用テーマ決定

宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」を有償で利用するテーマを選定し宇宙開発委員会に報告した。花の種を宇宙に打ち上げて帰還させ中学高校の理科の実験材料などに使う事業、チューインガムの広告に使う事業などが選ばれた。(12日)

高校生の6割「宮崎どこ？」

高校生の6割近くが地図上で宮崎県の場所を答えられず、大学生でも約3分の1がわからないという調査結果を日本地理学会が発表。国の位置を問う問題でも、イラクの場所を答えられたのは高校生の約4分の1、大学生の約半数だった。(19日)

台湾で政権交代

台湾の総統選挙で、経済や中国との対話を重視する国民党の馬英九さん(57)が、民進党の謝長廷さん(61)を大差で破り当選。2期8年続いた民進党・陳水扁政権から8年ぶりに国民党へ政権交代。(22日)

学習指導要領、異例の修正

渡海文部科学相が小中学校の改訂学習指導要領を告示。告示は改定案とほぼ同じ内容になることが通例だが、総則に「我が国と郷土を愛し」という文言を入れ、君が代を「歌えるよう指導」と明記するなど内容が一部変わった。2月の改定案公表後、1か月かけて意見を公募。保守系の国会議員らから改定案への不満が出ていた。(28日)